教 材 名 「 遠足のお弁当作り

教材のポイント

○子ども達の遠足のお楽しみと言えば、お弁当。普段はお家の人にお弁当を作ってもらっているが、 教師が事前に準備した教材で、まずはお弁当箱に食材を詰めてみようという学習を設定した。

提供者: 圓谷 純子



教 材 名 「 牛乳当番 」

教材のポイント

- ・必要な牛乳の数が分かるように、カゴに人数分の写真と仕切りをつけた。
- ・一対一対応を学習中の児童は、次にどの友だちや教師の牛乳を準備するのか、写真を見ながら確認することができる。
- ・必要な牛乳の数が分かり、数を数えて準備ができる児童は、仕切りや写真を取り外した状態で当番ができるよう、写真・仕切りは取り外し可能なものにした。

提供者: 高橋 彩音

教材の写真



牛乳を入れていくと、 次に誰の分の牛乳を取るのか 顔写真を見ながら確認しやすい。

その日の当番の児童の実態に応じて 取り外し、付け替えをした。



教 材 名 「 係活動を行おう 」

教材のポイント

- ・指示されなくても自分の係活動がわかり、自分で活動することができる。
- ・自分の係活動が終わったら、カードをめくり、「おわり」にすることで係活動を終えたことがわかる。

提供者: 只木 忍夫





教 材 名 「 月の目標カレンダー 」

教材のポイント

- ・自己課題を目標に掲げ、視覚的に振り返りができるようにする。
- ・毎日、出来たシール (青色)、出来なかったシール (白) を自分で貼ることで意識できるようにする。

提供者: 五十嵐

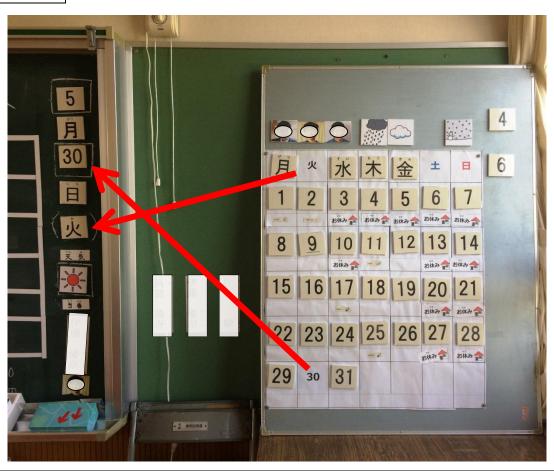
6月の目標				氏名		
(首様が達成できた日に、シールをはる)						
B	月	火	水	木	金	±
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
○反省 ●できたシール()個 ○できなかったシール()個 ①目標は達成できたか?						
②良かったこと 						
③悪かったこと						

教 材 名 「 今日は何月何日? 」

教材のポイント

- ○暦の概念が分かるように、毎月のカレンダーの模造紙(手作り)を貼り付け、その上に目付カードを磁石でくっつけた。
- ○今日の日付をカレンダーから選び、黒板に貼ることができるようにした。
- ○毎月の予定(お休みも含めて)が分かるように、日付カードの下に予定 を入れることで、生活の見通しを持って活動できるようにした。

提供者: 中村 孔一



|教 材 名| 「朝の会・帰りの会 進行カード」

教材のポイント

- ・会の進行が伝わるように項目ごとに片手でめくられる、机に置ける、 また教師も片手で持てるように作製。
- ・生徒の集中度合を考慮して、生徒写真・イラストを挿入。
- ・カレンダー式に片面は朝の会、裏面は帰りの会用にした。
- ・今後他の学習の進行の説明にも使用できるように段ボール紙で土台を作製。

提供者: 庄司美保

教材の写真



日めくりカレンダー方式なので、学習 の手順を提示するのにも使えます。









片手でめくったり、机上に置いたり して、進行の司会ができ、絵を見て 伝えることができます。

教 材 名 「朝の習慣」

教材のポイント

- 教師の指示を待つのではなく、自主的に活動へ移ることができるように番 号順で並べ、終了した項目については取りずしができるようにした。
- 文字の認識が曖昧な生徒でも理解できるようイラストを付けた。
- 何度も繰り返し行うことで、習慣づけることができる。
- ○生徒の実態や特性に合わせて項目の増減ができる。

提供者: 荒金 晃太朗

